

# 埴町下水道事業経営戦略【概要版】

## 1. 改定の目的

埴町下水道事業は、将来にわたって安定的に事業を継続するため、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を平成29年3月に策定しました。

急速な人口減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、経営環境が厳しさを増す中、経営基盤の強化を図るため、今回経営戦略を改定することといたしました。

## 2. 改定の主な内容

### 【計画期間】

令和8年度から令和17年度までの10年間といたしました。

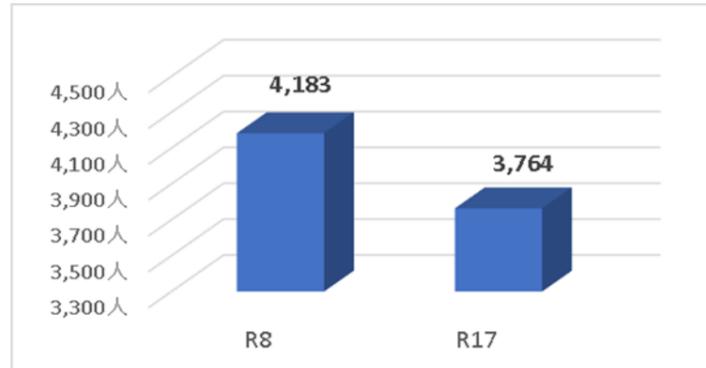
### 【投資・財政計画】

令和8年度に使用料改定を実施することで、経営基盤を強化し、投資・財政計画を策定いたしました。

## 3. 将来の事業環境

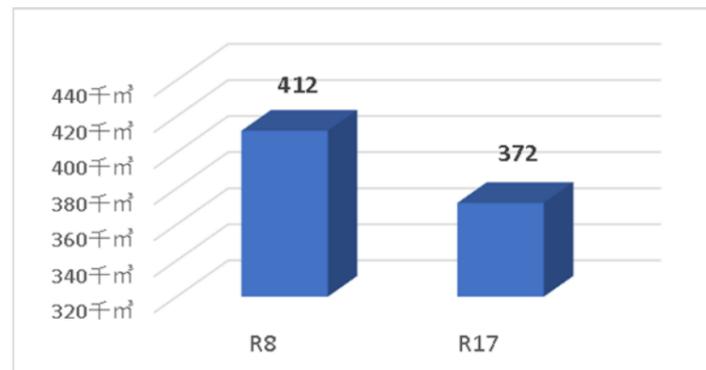
### 接続人口の予測

行政区域内人口は今後も減少が見込まれ、それに伴って接続人口も減少する見込みです。令和17年度の接続人口は公共下水道事業・農業集落排水事業の合計で3,764人となる見込みです。



### 有収水量の予測

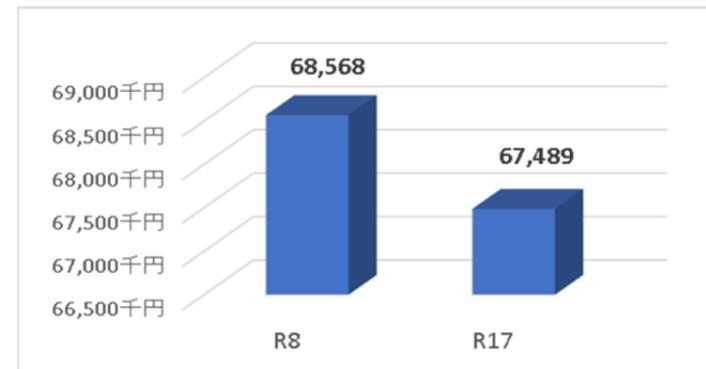
公共下水道事業・農業集落排水事業の合計の有収水量は、計画期間の最終年度である令和17年度には接続人口の減少に伴って372千㎡に減少する見込みです。



### 使用料収入の予測

令和8年度中に20%増の使用料改定を見込んでおり、使用料収入の見通しに反映させております。人口減少を踏まえると、使用料収入は減少していくと予測しています。

計画期間の最終年度である令和17年度において、公共下水道事業・農業集落排水事業の合計で67,489千円を見込んでおります。



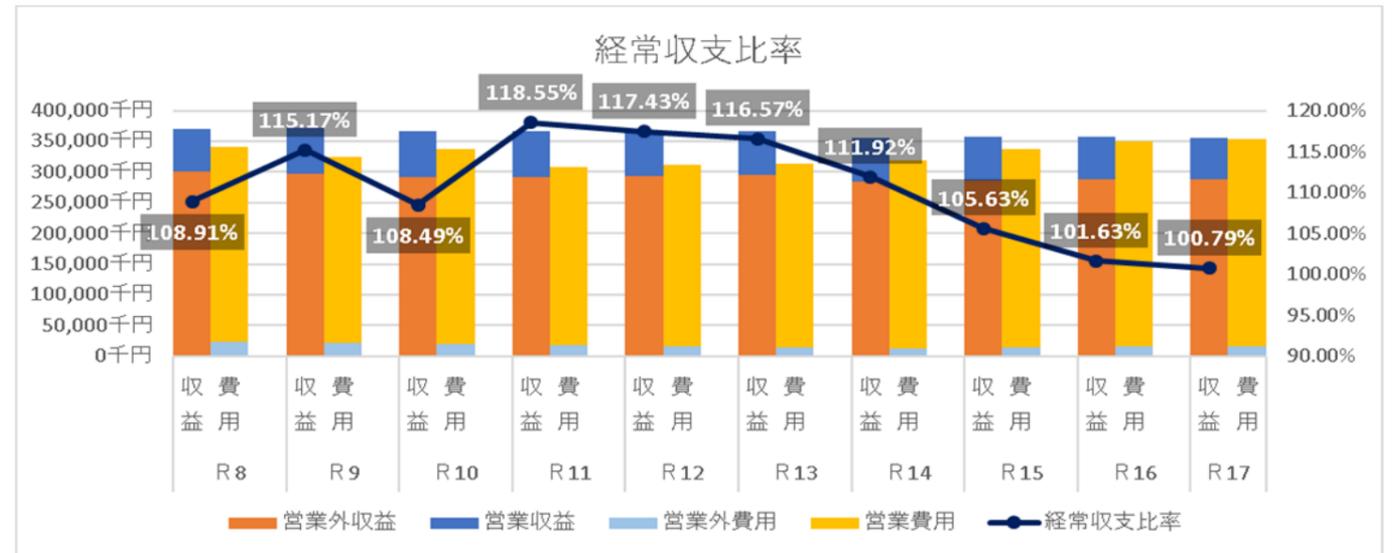
## 4. 投資・財政計画

### 【経常収支比率】

計画期間中は、100%以上で推移し、黒字化となる見込みです。

### 【経費回収率】

計画期間の最終年度においては、43.9%となる見込みです。なお、使用料収入で賄えない残りの費用については、一般会計からの補助金等により補填する計画です。



## 5. 経営戦略の事後検証など

経営戦略については、継続的な進捗管理を行い、経営改善や計画の見直しに反映させていきます。進捗管理は、毎年度末において投資・財政計画と実績の乖離を検証します。令和12年度を目途に経営戦略全体の評価と検証を行い、現状分析や社会状況の変化などを考慮したうえで見直しを行います。